

今年度の話し合いの経過と来年度の予定

第1回ワークショップ 2016年(平成28年)8月16日(火) 19:30~21:30 参加者:約110名

- テーマ: 鞆の「よいところ」「改善した方がよいところ」「その他」について個々の思いを付せんに書き大きな地図に貼り意見交換
- 結果: 出された意見431枚(地域の繋がり、生活環境、伝統・文化、風景、まちの風情、観光、防災、活力など)



第2回ワークショップ 2016年(平成28年)10月5日(水) 19:30~21:30 参加者:約90名

- テーマ: 「鞆まちづくりビジョン」に盛り込む内容としてどのような項目が考えられるかについて意見交換
- 結果: 出された意見146枚(「コミュニティ」「空き家」「子育て」「歴史・文化」「少子化・人口」「にぎわい」「高齢化」「観光」「防災」「交通・道路」「若者の意見」などの項目に分類)



第3回ワークショップ 2016年(平成28年)11月26日(土) 13:00~17:00 参加者:約100名

- テーマ: 鞆のみなさんが日頃の思いを発表する「住民意見発表会」を開催
- 結果: 小学生、中学生を含む12組のみなさんが鞆への熱い思いとまちづくりの視点やアイデアを発表し、意見交換を行う



第4回ワークショップ 2017年(平成29年)1月25日(水) 19:30~21:30 参加者:約65名

- テーマ: 「鞆まちづくりビジョン」基本方針(案)について意見交換
- 結果: 策定の趣旨、5つのテーマからなる基本的な考え方について、会場からの意見を基に修正しながら意見交換を行う



第5回ワークショップ 2017年(平成29年)2月11日(土・祝) 13:00~17:00 参加者:約70名

- テーマ: 前半では「鞆まちづくりビジョン」基本方針(案)について第4回に引き続き意見交換を行いながら修正。後半ではグループ毎にまちづくり拠点施設の活用方法についてアイデアを出し合う
- 結果: 8つのグループに分かれ、基本方針(案)の中にある基本的な考え方のテーマ毎に活用方法を提案



鞆町のみなさんと「鞆まちづくりビジョン」を考える

いい鞆ニュース Vol.4

発行: 福山市 2017年(平成29年)3月

2/11 第5回ワークショップを開催しました



2月11日土曜日、午後1時から5時まで、鞆公民館の2階ホールにて「鞆まちづくりビジョン」策定に向けた第5回ワークショップを開催しました。

前半は、第4回のワークショップで修正した「基本方針(案)」に基づき、鞆まちづくりビジョンを策定する意義や目的、背景について記述した「策定の趣旨」(中面参照)について、前回に引き続き議論し、確認しました。

後半は8つのグループに分かれ、本市がまちの中心部に整備を予定しているまちづくりの拠点施設について、「安心・安全に暮らし続ける環境づくり」「伝統・文化を受け継ぐ」「出会い・ふれあい・支えあい」「まちづくりの体制」の4つのテーマで活用方法を話し合いました。

来年度は、基本的な考え方(中面参照)を柱に議論を進め、基本方針と基本計画からなる「鞆まちづくりビジョン」を策定する予定です。



グループ別に話し合い、とりまとめる様子



キッズルームの様子
鞆こども園のご協力により
キッズルームを設けることができました。

【お問い合わせ先】 福山市建設局都市部都市計画課(鞆まちづくり推進担当)

電話(084)928-1142 (担当:岩木)

来年度は5回のワークショップを開催し、鞆まちづくりビジョンを策定する予定です

鞆まちづくりビジョン基本方針（案）

来年度、具体の議論を行い確定いたします。

策定の趣旨

鞆町は、古く万葉の歌にも詠われ、中世からは潮待ちの港町として栄えてきました。自然と多くの文化財や歴史的建造物から成る町並みが一体となった景観を持つ、瀬戸内有数の景勝地です。歴史的な町並みと人々の暮らしが醸し出す癒しの風情や、四季を通じて行われる伝統的な祭事や催しは、多くの観光客をひきつけ、世界的に知られる観光地となっています。

他方、人口の減少とともに、空き家の増加や家屋の老朽化などにより、古い町並みは失われつつあります。また、人々が歴史と暮らしの中で守り育んできた祭事など伝統文化の継承にも影響を及ぼしています。

鞆を再生・活性化するためには、地域と行政が一体となって、町並みを保存するとともに、安心して暮らし続けていけるまちづくりをすることが必要です。また、鞆に暮らす人が鞆を訪れる人と快適に過ごせるように、暮らしと観光との調和を図る必要があります。

福山市は、1996年（平成8年）に策定した「鞆地区まちづくりマスタープラン」を指針とし、総合的なまちづくりを推進することとしていました。

しかし、2016年（平成28年）に、広島県と福山市は、マスタープランの柱のひとつとしていた鞆地区道路港湾整備事業における埋立申請を取下げました。

そこで、福山市は、鞆に暮らす人々と協力し合って取り組むことのできる、まちづくりの指針が必要であると考えています。

この「鞆まちづくりビジョン」では、鞆に暮らす人々が、自分たちの子や孫の世代に思いを馳せながら、誰もが安心して自分らしく暮らし活躍できるまちを自らの手で実現していくために、互いに共感し合える将来像を描きます。

「鞆まちづくりビジョン」とは、その実現のための具体的な地域主体の取り組みや行政からの支援、地域と行政とが協働する取り組みなどの方向性を示す、鞆の新たなまちづくりの指針として、福山市が鞆に暮らす人々と一緒に策定するものです。

基本的な考え方

1 安心・安全に暮らし続ける環境づくり

- (1) 地域と行政との協働により、子どもから高齢者、障がいのある人も安心して生き生きと暮らし続けることのできるまちづくりを進めます。
- (2) 子育てしやすいまちづくりを通じ、将来の鞆を担う子どもが夢を育み育つことのできる環境をつくります。
- (3) 空き家対策や雇用の創出、日常の買い物など、生活圏としての鞆の活性化を図ります。
- (4) 災害時にも、住民どうしの助け合いを大切にするとともに、避難場所や緊急車両の通行の確保、地域による自主防災体制の強化を含めた防災・減災対策を行います。

2 伝統・文化を受け継ぐ

- (1) 歴史的・文化的価値の認識を共有し、町並みの保全をはじめとした文化財の保存・活用を図ります。
- (2) 鞆の歴史・文化の発信拠点を形成するとともに、重要伝統的建造物群保存地区の選定をめざします。
- (3) 住民どうしを繋ぐ伝統行事である祭りの継承に努めます。

3 出会い・ふれあい・支えあい

- (1) 地域の繋がりを活かし、子どもから高齢者、障がいのある人も、誰もが自分らしく輝き活躍できるまちづくりを進めます。
- (2) 鞆に暮らす人が訪れる人と快適に過ごし、国籍にかかわらず多様性を認めあうまちづくりを進めます。

4 まちづくりの体制

- (1) 子どもたちから高齢者まで各世代が連携したまちづくりを進めます。
- (2) 鞆まちづくりビジョン実現のための体制や役割を明確にし、短期的な取り組みと中長期的な取り組みを計画的に行います。

5 実現を下支えする行政の対応

- (1) 人と車が安全に安心して通れる生活道を含む交通システムを構築します。
- (2) 良好な保育・教育環境の形成や、地域活動拠点の整備、遊休公共施設の活用などを通じ、まちづくりの仕組みづくりを支援します。
- (3) 自然災害への備えや、防災体制の維持・強化など、行政が住民と協働して行うべき防災対策を計画的に行います。
- (4) 鞆の人々が安心して暮らせるインフラ整備を推進します。

※鞆に暮らすとは、仕事で関わっている人も含みます。